

令和元年 8月

令和元年度 学校関係者評価報告書

学校法人国際総合学園
国際ビジネス公務員大学校
学校長 双石 茂

1. 「学校関係者評価」の実施方法について

今回の学校関係者評価は前年に引き続き、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施した「平成30年度自己点検・評価報告書」について、本校に関係の深い企業・団体の方々と本校校長とで構成する評価委員（委員一覧表）に評価していただいた。

自己点検・評価報告書（平成30年版）と併せてご覧いただきたい。

2. 委員会次第(概要)

全体進行は教務部長が担当

(1) 開会

(2) 学校長挨拶

(3) 学校評価に係る経緯説明

教務部長から、委員会資料「学校関係者評価の実施にあたって」、「専修学校における学校評価ガイドライン概要」に基づき、学校評価の目的や必要性及び経緯について説明した。

(4) 平成30年度自己点検・評価報告 及び討議・意見交換

学校長から、沿革を含めた概要（現状）について説明の後、「平成30年度学校法人国際総合学園 国際ビジネス公務員大学校 自己点検・評価報告書」の点検・評価項目（1～9）達成状況及び取組状況について、課題及び改善策等を報告した。

各評価委員から、自己点検・評価報告に対するご意見やご指導をいただいた。

(5) 閉会

3. 平成30年度自己点検・評価報告および討議・意見交換について

自己点検・評価報告書の点検・評価項目（1～9）達成状況及び取組状況について、課題及び改善策等を報告した。本校に対しての要望等を含め、点検・評価項目に関する貴重なご意見をいただいた。

「1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標」

学外への教育理念等の公表については、HP 及びパンフレット、募集要項などへの掲載

を行なっている。

また教育計画の掲示等について、各クラス担任により年間スケジュール・検定受験予定等を教室掲示している。

「2 教育の内容」

シラバスについては新入生及び進級生のオリエンテーションで年間スケジュールや学科の学習内容の説明の中でシラバスの説明、クラスへの掲示を行なっている。今年度はHP上でシラバスが閲覧できるよう進めている。また、小項目8「シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか」について、ペーパーレス推進という時代背景もあることから「配布」から「公開」へ項目内容の変更を協議し、全会一致で「公開」へ変更することが決定した。

姉妹校と多くの連携事業の実施、昨年度に4市町と締結した包括連携協定等を活用し、より実践的な教育を提供している。

「3 教育の実施体制」

図書について、分野間に差はあるもののこども保育分野以外の学科は各教室に書棚を配置し蔵書を増やしている。こども保育分野は図書室を設け蔵書を増やしている。

「4 教育目標の達成度と教育効果」

卒業後の就職状況の把握については追跡調査を実施し、卒業後の状況を確認している。現在は、就職状況の確認のみになっているが、今後は退職してしまった理由等をまとめ、分析しキャリア指導などに活かせるようにする。

「5 学生支援」

「保護者の会」について、現状では組織化が難しい。各学科代表の保護者から組織化するなどの検討を継続する。

「企業の会」についてはできていないが、各市町村などの行政との連携や企業との密な連携を図り、実践授業などを行っている。

インターンシップへの参加も引き続き推進していく。

「6 社会的活動」

地域貢献・社会貢献は学校の重要な取り組みとして推進している。

「7 管理運営」

月1回の運営部会を開催している。

「8 財務」

法人としても、学校としても、いずれも適正に運用されている。

「9 改革・改善」

評価は実施・告知されているが、改善計画の策定を行い押し進める。

以上